凡事徹底(縁)

八代第一中学校
生徒指導通心
第９号　2023.6.9（金）

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践　　綱領：至誠貫徹･真理探究･耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
　　スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦　一中プライド～

生徒総会を終えて～全校生徒で、目指すゴールの姿を共有できました～

生徒総会では、執行部や専門委員長から、年間計画、特に力を入れていきたいことについてプレゼンがあり、生徒会が目指す姿が明確になりました。また、本年度の生徒総会では、全校生徒が同じ方向を向き、①顔を上げて相手を見て、②姿勢を整えて、③話の初めから最後まで発表者の話に心を傾けて聴いている姿が感動的でした。５月の生徒指導月目標が、実生活の中で発揮された瞬間でした。「Challenge＆Respect」のスローガンのもと、第二号議案で取り組んだ校則改定を初め、様々なことに積極的に挑戦して欲しいと思います。

校則の見直しに関する話ですが、社会には様々なルールがあり、学校にも「生徒心得」などのルールがあります。みなさんは、そのルールの一つ一つについて、よく理解できていますか。弁護士のような法律の専門家を除けば、全てのルールを完璧に理解している人は、あまりいないのが現実でしょう。それなのに、社会（学校）生活が安心・安全なものとして成り立っているという現実もあります。それは、私たちの心の中には、「モラル（道徳心）」というものがしっかりと備わっているからです。善悪の判断が、個人として適切にできているのかということが求められるのではないかと思います。

ガンディーから学ぶ「鏡の法則」世の中は鏡のような構造になっています

誰かに行った言動が、後ほど、その人もしくは他の人からそっくりそのまま自分に返ってくるという話はよくあることです。「非暴力・不服従」を掲げ、イギリスからの独立を勝ち取ったガンディーは、インドだけではなく全人類を愛していました。ガンデイーはインド国民を心から愛していたので、命をかけることすらためらいませんでした。インド国民も、ガンディーを心から愛していました。さて、みなさんはいかがでしょうか。「誰も自分のことを分かってくれない」とぼやいたり、「あいつは〇〇でダメだ」と悪口を言ったりした経験はありませんか。「鏡の法則」に従うと、いつかその言動は、自分自身に返ってきます。他人にどう思われるかより、周りの人を思いやる心をもちましょう。悪口を言うのではなく、相手の良いところに目を向けて、温かい言葉をかけましょう。それらを心がけていくと、自分の心も穏やかになり、周りの雰囲気も穏やかになってきます。

学校という集団生活の場において、互いを思いやり助け合える良好な人間関係の築き方、コミュニケーションの取り方を学んでいきましょう。

「夢実現・自己実現」コーナー「掃除」の姿勢に「心」がこもってきました！！